

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第15回）議事概要

開催日及び場所	平成23年6月16日（木） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授） ○委員 田辺 孝二委員 （東京工業大学大学院教授） 松浦 亨委員 （北海道大学病院 病院長補佐（病院経営・情報管理担当）、臨床教授） 和田 義博委員（公認会計士）	
審議対象期間	平成23年1月1日～平成23年3月31日	
個別審査案件	10件	○議事 (1) 平成22年度第4四半期の物品・役務等契約に係る審査 (2) その他
一般競争入札方式	5件	
最低価格方式	4件	
総合評価方式	1件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	5件	
企画競争	2件	
公募	0件	
競争性のない随意契約	3件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	個別に検討を要するものはあるが、全体として特に問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>平成22年度第4四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）</p> <p>① 「モニタリングポスト一式」の調達に係る契約について【一般競争入札（最低価格落札方式）】（会計課用度班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札となった要因は何か。また、参考見積が1者しかとっていない理由は何か。 ・ 競争しようとした業者の中の間で、1者に絞る作業が行われているのが少し疑われる状況でもあるので、競争性が確保できるような方法をさらに工夫してほしい。（意見） <p>② 平成23年度使用教科書給与用紙袋の梱包発送【一般競争入札（最低価格落札方式）】（会計課用度班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者だけ特別安い金額で入札となったが、品質等、問題ないのか。この業者がなぜ特別安いのか、どこに違いがあると考えるか。 ・ 到着完了部数が95.92%となっているが、約20件に1件は到着していないという意味か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札説明会には4者来ていただいたが、最終的に1者のみとなった。1者となった明確な要因は分析できていない。また、入札書提出と同時に参考見積書をお願いしていたので、最終的に1者分のみの見積書となった。 ・ 入札説明書あるいは入札説明会に複数の方が参加したが、結果として1者の応札であった場合には、実際の入札に参加されなかった事業者の方に不参加の理由を今後お尋ねしていったらどうかと思う。しかし、全体の競争契約の量が多いので、すべてに行うことは難しいかもしれないが、今後検討したい。 ・ 複数の教科書供給会社が1カ所のこの業者へ配送を依頼していたこと。そのため、教科書供給袋も含めて配送していただければ、コストとしては安くなると思われる。 ・ 3月11日の東日本大震災の影響をうけて、岩手、宮城、福島への発送ができなかったため、今回のみイレギュラーである。

③ 平成23年度全国学力・学習状況調査解答用紙（中学校）の印刷【一般競争入札（最低価格落札方式）】（国立教育政策研究所）

- ・他者でも実施可能と思われるが、1者応札となった要因は何か。

④ ICTの活用による生涯学習支援事業（国内における実態調査）【一般競争入札（総合評価落札方式）】（生涯学習政策局）

- ・参考見積額に比べると、入札価格が極端に安価であるが、事業内容、クオリティーが落ちないかをどの程度確認したか。

⑤ 平成22年度「先導的大学改革推進委託事業」（諸外国の大学教授職の資格制度に関する実態調査）【随意契約（企画競争）】（高等教育局）

- ・調査の実施期間が年度末の1ヵ月のみとなっている理由は何か。

⑥ 平成22年度国際芸術交流支援事業（海外公演）NHK交響楽団 北米公演2011【随意契約（企画競争）】（文化庁）

- ・学識経験者や舞台芸術の制作者等で構成される

- ・解答用紙からも問題が推測できるおそれがあるので、セキュリティーをかけている。それをクリアできる業者は限定されているのが現状。平成19年度～21年度と3年間応札者ゼロという状態が続いており、セキュリティー関係、発注時期等の要因が関係していると思われる。

- ・成果物を見ているが3年前のものとも比べても遜色ない。またしっかりと追加した質問事項へも一定の分析をしているので、質についても問題ないと考える。

- ・22年度中に簡単な調査レベルは少なくともやりたいという意向があった。

協力者会議において書面審査と合議審査を行っているが、合議審査を行った結果、書面審査で点数が高いところを上回ったのであれば、理由をきちんと書いておく必要がある。(意見)

⑦ 平成22年度宗教系新聞の記事総目録作成業務【一般競争入札(最低価格落札方式)】(文化庁)

・ 予定価格の参考見積が2者だけなのはなぜか。

・ 今回はデータベース化を行っているが、前段階としてデジタル化の事業を行っている理由は何か。1つの事業としてまとめられないのか。

⑧ 彫刻 重要文化財 木像釈迦如来立像(本堂安置)【随意契約(競争性のない随意契約)】(文化庁)

・ 予定価格の出し方が、専門家の評価のうち一番高い金額と低い金額を除いて、残りの者の平均金額を予定価格としているが、残りの者の間で乖離がある場合はケースバイケースで算出が必要ではないのか。

⑨ 子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業【随意契約(競争性のない随意契約)】(スポーツ・青少年局)

・ 過去にデジタル化関係の業務を委託した経験があったのが2者であり、この2者であれば適正な見積書を提出してもらえると判断した。実績のない業者から予定価格の基礎となる参考見積を徴集することは若干抵抗があった。

・ 予算の制限上、絶対に必要なデジタル化から事業を行い、その結果、予算残額を見て第二次のデータベース化を行おうと判断したため。

・ 算定の仕方やそのルールを明文化する必要があるかどうか、今後検討していく。

<ul style="list-style-type: none"> ・競争性のない随意契約としたのはなぜか。 <p>⑩ 平成23年霧島山新燃岳噴火に関する緊急調査研究1式【随意契約方式（競争性のない随意契約）】（研究開発局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究がなぜタイトなスケジュールになるのか。 <p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に検討を要するものはあるが、全体として特に問題なく処理されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災によって被災した児童生徒の健康面の支援を行うため、被災県及び避難先として被災者を多数受け入れている県を対象として、新規委託契約決定を行ったものであり、契約の性質又は目的が競争を許さないため、競争性のない随意契約となった。 <ul style="list-style-type: none"> ・最初から繰り越しありきであれば緊急性がなくなるので認められないと、財務省、総合科学会から言われたため。 <p>(以 上)</p>
---	---